

会 議 録

会議の名称		坂戸市立片柳小学校 第4回学校運営協議会
開催日時		令和 7年 2月 4日(火) (開会)9:30 (閉会) 11:30
開催場所		坂戸市立片柳小学校 図書室
出席者氏名(委員)		会長 委員 委員 委員 委員 北原校長 勝又教頭
欠席者氏名(委員)		委員
議 題		(1)学校評価結果について(協議) (2)来年度の本会議の方向性について
協 議 等 要 旨	協 議 結 果	意 見 の 概 要
	(1)学校評価結果について (協議)	①学校組織の運営について 会長:働き方改革が叫ばれている中、担任の業務にメリハリをつけるためにも、留守番電話を導入している取り組みは有効かと思う。組織として対応が見られる。 北原校長:個々によっては偏りがあるが、時間外勤務時間の減少傾向が見られる。 委員:教員の疲弊した姿を子供たちの前で見せしていると、将来学校の先生になりたいと思う子供が出て来てくれるだろうかと懸念している。 委員:一般企業に勤めている会社員と比較すると、教員との給与格差が見受けられる。残業代を支払うにしても、所得に見合わない業務量だと根本的な解決にはならないのでは。 委員:忘れ物等をしてすぐに対応してくれることに感謝しかない。 委員:宿題の忘れ物等、直接生活に影響がないのであれば、学校に取りに来させないようにすれば、先生の負担も少なくなるのではないかと。 ②教育課程・学習状況について 委員:学校は、社会に出て、自立できるような子供の育成の場所であってほしい。 会長:場に応じた態度の育成について、児童における学年別の評価を見てみたい。 北原校長:今朝のお話朝会では、1年生が最初に体育館に入ってきたが、それに続く学年も話し声がなく、とても立派だったと教務主任から称賛された。 委員:児童からの挨拶が少なくなってきた時期があったが、こちらから挨拶をし続けることによって、返ってくるようになってきた。大人が挨拶をするようになると、子どもも返ってくるようになる。 ③学習環境について 会長:特別支援教育において、一人一人の特性に応じた教育体制や環境整備ができていたので大変ありがたい。安全面ではどのような過程で実施しているのか。 北原校長:遊具関係は業者に、校舎内の設備等に関しては、各担当の先生が毎月1回点検をして、その結果を安全主任へ報告。対応によって教頭が業者へ、簡易的な修繕に関しては個々で対応している。 ④小中一貫教育について 委員:小高の生徒が交流できる場を増やしたい。(科学部・ダンス部・陸上部等) 委員:坂高の文化祭に片柳の児童保護者が行ってみるのもいいのでは。 委員:コロナ前はダンス部もコラボしていた。復活してほしい。
	(2)来年度の本協議会の方向性について	委員:坂高前の手押し信号から東上線ガードをくぐる通学路について、スクールゾーン化に向けて、要望書等を警察に提出。特に1年生の下校について、保護者の皆さんに見守りをお願いしたい。 委員:挨拶の励行について、家庭での取り組みがどうなっているのか。 会長:坂高との交流を大事にしたい。またPTAを通じて、保護者同士のコミュニケーションの構築をしていきたい。 委員:大変貴重な会でした。 委員:通常の授業参観では見られない我が子の状況等を見ることができて大変うれしい。
配 布 資 料		・学校評価(自己評価及び学校関係者評価)のまとめについて(保護者アンケート回答分含む) ・令和7年度年間行事予定(案) ・6年生を送る会、卒業式及び令和7年度入学式案内状